



Seven Generations

2022(令和4年)年度 活動報告書

2023年2月

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ



セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : Mission & Value

Mission

わたしたちは、持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

Value

1. 人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

2. つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

3. 対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

4. プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

5. オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

6. 問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていくことに挑戦します。

7. 体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。



セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : 設立趣意書

【設立趣意書より抜粋】

私たちは、引き続き、すべての人が環境的に持続可能で、公正で、精神的に充足して生きる社会が同時に実現されるものであるということを、より多くの人々が理解し、意識や行動の変化を促すために、社会教育事業、人材育成助成事業、普及啓発事業、研究調査事業など各種の事業を行い、
智慧と力を合わせ、七世代先まで持続可能な市民社会を実現しようとしています。

「速く行きたいときは一人で行け、遠くへ行きたいときはみんなで行け」というアフリカのことわざがあります。私たちが実現しようとしている世界は、容易に実現できるものでなく、遠い目標であるかもしれません。しかしゆっくり進んでいく余裕もありません。私たちは「速く、遠くまで」行かなければならないのです。

▼特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ 設立趣旨書 (全文は [こちら](#))





セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : 私たちは何者か

NPO法人セブン・ジェネレーションズ、法人化10周年の節目の年において、しっかりと組織の目的を握り直して進んでいくため、「私たちは何者か」ということをまとめました。

★なんのために存在しているのか(WHY)

NPO法人セブン・ジェネレーションズは「地球上のすべての人が環境的に持続可能で社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現すること」を目指しています。

★どのように目的を達成するのか(HOW)

社会に大きな変化を創り出すために最小限必要な人の数(クリティカルマス:人口の3.5%)の「ゲームチェンジャー(社会変革の担い手)」が誕生し、つながりあうことで、目的が実現すると考えています。

★何をするのか(WHAT)

私たちは、提供している教育・啓発プログラムを通じて、目的の実現を担う「ゲームチェンジャー」とそのつながりを、統合的に育んでいきます。



目次

I. 基幹事業

社会教育事業

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム/
プログラム・フォー・トランスフォーメーション (PT) ... 9ページ
- ・ ゲームチェンジャー・インテンシブ (GCI) ... 10ページ
- ・ コミュニティ気候アクショントレーニング (ICCAT) ... 11ページ
- ・ 「アチュアルの夢」自主上映会 ... 12ページ

人材育成事業

- ・ GCIモデレータートレーニング/DEEP ... 14ページ

II. コミュニティを育む

- ・ セブン・ジェネレーションズ主催:
コミュニティコール/コミュニティミーティング ... 16ページ
- ・ コミュニティメンバーが関わっている団体、および活動 ... 17-18ページ



目次

Ⅲ. セブン・ジェネレーションズのプロジェクト

- ・ 理事改選プロジェクト、理事選出管理委員会 …… 20ページ
- ・ 企業・大学・他団体展開プロジェクト …… 21ページ

Ⅳ. 運営

- ・ 2021年度通常総会 …… 23ページ
- ・ 理事ミーティング/新理事よりメッセージ …… 24-25ページ
- ・ 事務局 …… 26ページ
- ・ 経営基盤強化 …… 27ページ
- ・ ファンドレイジング …… 28ページ
- ・ 広報 …… 29ページ

Ⅴ. 最後に

- ・ 寄付のお願い …… 31ページ
- ・ 代表理事メッセージ …… 32ページ
- ・ 法人概要 …… 33ページ



I . 基幹事業

社会教育事業

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム
- ・ プログラム・フォー・トランスフォーメーション (PT)
- ・ ゲームチェンジャー・インテンシブ (GCI)
- ・ コミュニティ気候アクショントレーニング (ICCAT)
- ・ 「アチュアルの夢」自主上映会

人材育成事業

- ・ GCIモデレータートレーニング
- ・ DEEP





社会教育事業



チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム(チェンドリ)/ プログラム・フォー・トランスフォーメーション(PT)



●チェンジ・ドリームシンポジウム 27回開催、合計100名参加。

■累計5,415名(日本での提供が始まった2008年以降)

●オンライン開催:22回開催、65名参加 ※以下、ファシリテーターの名前のあとの数字は担当回数

- ・個人主催2回14名、担当ファシリテーター2名(巖岩尚眼1、宮本大輝1)
- ・SG主催開催9回31名、担当ファシリテーター9名(山田ヴァユ3、鈴木核4、生田早智江2、野崎安澄1、木越省吾4、風かおる2、小谷真司2、鳥谷部愛1、中西百合2)
- ・GCI参加者対応11回20名、担当ファシリテーター4名(山田ヴァユ3、野崎安澄1、塚田康盛6、小谷真司1)※チェンドリはGCI参加の条件となっているため

●対面開催:5回開催、35名参加、担当ファシリテーター4名(岩瀬淑乃1、関口守2、山田ヴァユ2、野崎安澄1)

開催地: 神奈川県川崎市2回、長野県松本市、東京都西東京市、愛知県名古屋市

■チェンドリ・オンラインコース(eラーニングサイト):受講者14名

■事務:佐藤さわ、桑原康平

※SG主催チェンドリ事務、オンラインコース対応、チェンドリセット(ブレスレット&宣言カードなど)対応

■統計記録:明恒次郎

■所感:今期も新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響もあり、オンライン(Zoom使用)での開催が多くなりました。参加者比率を見ると対面での参加者数の方がオンラインでの参加者数よりも多い傾向があるようです。また2022年度は、昨年度に引き続き、SG主催のチェンドリを定期的を開催することを計画し、開催しましたが、全体的に開催数および参加者数とも少なく、オンラインコースについても今後の認知度の向上が必要と思われます。

●プログラム・フォー・トランスフォーメーション(PT)

今期実施なし。来期2023年度に向けて準備中。



ブレスレット

チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム

私は、この地球上に生きるすべての人が環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現できるよう全力を尽くすことをここに誓います。

署名 _____ 日付 _____



宣言カード

ゲームチェンジャー・インテンシブ(GCI)



◎2022年1月期

参加者計45名(新規23名、再参加10名、お世話係12名)
出席率82%、ドネーション 364,439円

◎2022年6月期

参加者計45名 (新規17名、再参加18名、お世話係10名)
出席率 75%、ドネーション 340,722円

◎活動内容

- ・1月期 参加者60名目標キャンペーンを実施
- ・GCI開催中、モジュールとリンクする出来事があり、より自分事として対話が深まり、参加者からゲームチェンジャーの必要性を実感したとの感想があった。
ex.「民主主義」ー ウクライナとロシアの紛争
「気候危機を解決する」ー「リ・ジェネレーション」出版、多発する自然災害
- ・お世話係(モデレーター)のサポート&強化
お世話係(モデレーター)の2人体制、及び、お世話係をお世話する人の常設。スモールグループの質を向上。
さらに6月期はGCIの経験者の中から有志で、サポーター役として参加(一部のスモールグループ)。

◎スタッフ

- ・コアメンバー: 池山康之、犬飼孝紀、國方志津枝、桑原康平、野崎安澄、野田浩平、廣川景俊、山田ヴァユ
- ・事務・会計担当: 清野健太郎、佐藤さわ
- ・翻訳・通訳協力: 関口守、杉原めぐみ、俵山美絵





コミュニティ気候アクショントレーニング (ICCAT)



●コミュニティ気候アクショントレーニング (ICCAT) とは

- ・10週間で展開されるオンラインコース(まだ正式なコースではなくパイロット版)
- ・気候変動に対するアクション経験のあるモデレーターが付き6名程度のグループ(最大日本では8名)をホールドする
- ・前半はbe-ing(あり方。地球・大地・住んでいる場所とのつながり)、中盤(コミュニティマッピング、ライブ研修セッション)、後半(you-me-weのコンセプトでのコミュニケーションに基づくコミュニティ内でのそれぞれのテーマの気候変動に対するアクションを実施)
- ・毎週1回のコールでyou-me-weトークの練習・ロールプレイからアクションの報告、そして前半は在り方についての対話を行う
- ・HPは[こちら](#)

●2022年度は4月期1回のみ実施しました

2021年度から、まだプロトタイプ(試作段階)ではありますが、10週間におよぶコミュニティ気候アクショントレーニング入門(ICCAT)をスタートし、2022年度は4月期の1回開催しました。

運営メンバー、モデレーターは鈴木核・野田浩平・野崎安澄・桑原康平、運営サポートとして清野健太郎、トレーニングサポーターとして高崎麻世が関わりました。

4月期は5名の方が参加され、様々な地域レベルでの気候変動解決策につながるコミュニティへの参加、プロジェクトやコミュニティが企画・推進されました。

9月も開催予定でしたが、パチャママ・アライアンスでの世界でのトレーニングが中止されたため、日本チームも中止となりました。





「アチュアルの夢」自主上映会

SGが地球の裏側のエクアドルとつながりを持ったのは、エクアドルのアマゾン熱帯雨林に住む、アチュアル族という先住民の呼びかけによるものでした。

彼らは、熱帯雨林の中で自然と共存して暮らしていますが、1980年代後半から石油や木材、鉱物を求める外部の人たちに生活を脅かされることになりました。

そのとき、アチュアル族は単に敵対するのではなく、地球の未来を守るため外の世界に協力を呼びかけたのです。

そして1995年、映画にも出てくるアメリカのNPOパチャママ・アライアンスの創設者リン・ツイストと出会いました。リンは地球上のすべての人が持続可能で公正で充足した生き方を実現するため「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」というワークショップを作り、世界に広めています。

そして、私たちは日本で「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」を展開しています。

2016年、アチュアルの元を訪れた際、映画を作ったのも、持続可能で公正で充足した未来を自分たちで創り出していく時に、エクアドルの自然や、人が、日本に住む私たちにインスピレーションを与えてくれると考えたからです。

2021年度から映画「アチュアルの夢」がオンラインで自主上映会を開催できるようになり、SGでは月1回オンライン自主上映会を開催し、2年目となりました。2年目は、毎月豪華なゲストの方々をお呼びしてお送りしています。(トランジションコーチ:馬場久美子さん、ムーブメント・メディスンティーチャー:景浦由美子さんなど)

2023年度もいろいろな方とコラボしながら、自主上映会をすすめていきます！

引き続きどなたでも自主上映会が開催できますので、興味がある方はinfo@sevengenerations.or.jpまでお問合せください。



自主上映会は、以下の手順で開催できます。

- (1) 開催申請をする (<https://goo.gl/forms/6hK4PJCGmlmvPtLv>)
- (2) 開催する
- (3) 開催報告をする (<https://goo.gl/forms/15HNUjVdv7qb1ug03>)
- (4) 参加者(中学生以上) × 500円をセブン・ジェネレーションズへ払う

※ 参加費はご自由にお決めいただくことができます。

※ 注意事項

- ① イベントを立てるとき「自主上映会」とお書きください。
- ② 「NPO法人セブン・ジェネレーションズ共催」にしてください。

詳細はHPをご覧ください。

<https://www.sevengenerations.or.jp/achuar-events>



人材育成事業



GCIお世話係(モデレーター)ミーティング/DEEP

●お世話係(モデレーター)のサポート&強化

2022年度はGCIのモデレーターをしてくださる方々向けに、期間中の定期的なフォローアップミーティングを行いました。

GCIの参加者の満足度や意識の変容、継続的なつながりには、モデレーター(お世話係)のみなさんのあり方がとても重要なキーであると考えているからです。

★フォローアップミーティング概要

- ・GCI前半はほぼ毎週モデレーターMTGを開催(キックオフから含めて)
- ・後半は2週間に1回
- ・日中・夜の開催、毎回5-7名くらいの方が参加
- ・モデレーターのあり方、守ってほしいこと(社会的公正、ハラスメントetc.)を毎回共有
- ・次週のテーマについて、モデレーター同士の対話・疑問のシェアなどを行う
- ・モデレーターがSGやGCI後のステップを説明しやすいように資料・動画作成

●DEEP(チェンジ・ザ・ドリームファシリテーターのための支援プログラム)

11月27日開催予定も参加者が集まらずに開催中止。担当リーダー:小谷真司、鈴木核。事務局:佐藤さわ



Ⅱ.コミュニティを育む

・セブンジェネレーションズ主催

- ・コミュニティコール

- ・コミュニティミーティング

・コミュニティメンバーの活動

- ・コミュニティメンバーが関わっている団体、および活動



セブン・ジェネレーションズ主催： コミュニティコール/コミュニティミーティング



1、コミュニティコール コール事務担当：佐藤さわ、桑原康平

【ほっとコミュニティコール】ファシリテーター：桑原康平

今年のほっとコミュニティコールは毎月、計23回開催しました。このオンラインコールは、会員に限らず、SGのコミュニティメンバーのためのコールの場です。各回0～6名の参加者がありました。SG全体の動きや状況、お互いの活動を共有したり、参加者が話したいテーマで対話しています。また、今年から、コミュニティメンバーが交代でインスピレーショントークをする時間を取ったこともあり、メンバー同士のつながりを作ることができました。

【ウェルカムコール】ファシリテーター：桑原康平

SGの各種ワークショップ参加者、新しく会員・ファシリテーターになられた方をウェルカムするためのコールを1～10月まで毎月、計18回開催しました。各回0～5名の参加者がありました。新しくコミュニティメンバーになった方はなかなか参加してもらえませんでした。以前より関わっているメンバーが、ウェルカムする側で参加してくれて、ほっとコミュニティコールのように、メンバー同士のつながりを深める場となりました。

【パチャママコール】

今年もアメリカのパチャママアライアンスとの情報共有のためのパチャママコールを通訳付きで年6回行いました。

- 司会進行・日程調整 田嶋真紀・袈岩尚眼・野崎安澄
- 通訳：佐藤ふゆお・俵山美絵・野田浩平・三宅しんご・村瀬まどか
- 書記：桑原康平・村石しのぶ・吉澤ひとみ

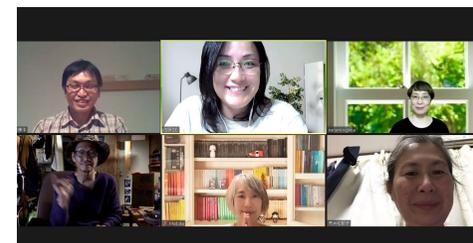
2、コミュニティミーティング(話し合いのテーマがあるもの)

【ハートキーパーミーティング】

SGメンバーの心の見守り役としてのハートキーパーの仕組みを考えるために、佐藤さわの呼びかけにより、野嶋成美、桑原康平が中心となって、6月からハートキーパーミーティングを始め、計12回開催しました。当初から仕組み作りを越えて、参加者間の対話の場となって行きました。

【理事改選に伴う各種対話の場】

詳細は20ページの「理事改選プロジェクト/理事選出管理委員会」を参照。





コミュニティメンバーの活動(1)

【コミュニティメンバーが関わっている団体、および活動】

NPO法人トランジション・ジャパン/認定NPO法人ブラーマ・クマリス/森と踊る株式会社/ アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ/NPO法人GEN-Japan(グローバルエコビレッジジャパン) /ムーブメント・メディスン・ジャパン /一般社団法人ワン・ジェネレーション/ジョアンナ・メイシーつながりを取り戻すワーク/VOICE and VOTE /Citizens' Climate Lobby Japan/一般社団法人カンパニア・しゅんろう、まゆの“人”と“自然”にやさしい農的対話・つながりを取り戻すワーク・インテンシブ Spring 2022 ・八重山からの風～“沖縄慰霊の日”を故潮平正道さんの語りとともに～・グレート・ターニング:惑星的危機をインテグラルな視点からみる/トランジションタウンいなぎ・あさお/ 平和・安全保障とジェンダー～SGコミュニティ向け特別セミナー～ /onlineエクアドル熱帯雨林ツアー ～自然と共生する先住民アチュアル族の暮らしに触れる旅～/由佐美加子さん講演会「共感(empathy)の原理を使った関係性コーチング」/GAIA Japanうみたいわ・パブコメみんなと一緒に書いてみよう! ～フクシマ原発汚染水の海洋放出に意見する5+1 daysアクション/トオラスオンラインフェス2022/「サステイナブルな理想の未来の暮らしについて語りましょう」@Clubhouse/ファシリテーション基礎講座/クロスロードゲーム・ダイバーシティ編体験会/ガウディの知られざるサステイナブルな世界」IN TOKYO GAUDI MEETING / COP27@エジプト参加報告会/ビーチクリーンプロジェクト「プロジェクトマナティin Kumejima」・愛の源につながるオンラインリトリート in沖縄・久米島 (順不同)

参照:『新月通信』バックナンバー・ブログ:<http://sg-newmoon.blogspot.com/>

コミュニティメンバーの活動(2)

【日本のゲームチェンジ対話会】

GCI卒業生が集まり語り合う場として、毎週金曜日の朝と隔週の水曜の夜に、日本や世界のさまざまなテーマについて対話していくゲームチェンジ対話会を開催しています。2020年4月から開始し、2022年は第5クールの途中～第6クールで、42回の開催、のべ210名の参加となりました。

<朝の対話会> 毎週 金曜朝 8:00～9:30

◎ミーティングID: <https://zoom.us/j/99602617852...> ミーティングID: 996 0261 7852 パスワード: 462280

<夜の対話会> 隔週 水曜夜 20:30～22:00

◎ミーティングID: <https://us02web.zoom.us/j/3469712795...> ミーティングID: 346 971 2795 パスコード: 3939

【土曜の朝のClubhouse】

毎週土曜 朝7時～8:30過ぎまで、GCIでの対話のやり方や雰囲気を広げて、様々なバックグラウンドの方との対話や交流する場を開催しています。2022年2月から開催し、毎回5名～20名くらいが参加しています。

[サステナブルライフ](#)

サステナブルで幸せな暮らしについて語り合いましょう♡



clubhouse





Ⅲ. セブン・ジェネレーションズのプロジェクト・イベント

- ・理事改選プロジェクト/理事選出管理委員会
- ・企業・大学・他団体連携プロジェクト





理事改選プロジェクト/理事選出管理委員会

【理事改選プロジェクト】メンバー: 桑原康平

持続維持可能で多様性が現れたセブン・ジェネレーションズの理事が選出されるために発足。2021年5月から2022年1月に掛けて、7回の対話会と会員 & コミュニティメンバーに対しての意識調査のためのアンケートを実施。2022年1月に実施した2回の対話会では巖尚眼が協力。

★アンケート結果詳細(31名回答)

[アンケート回答集計1\(グラフ\)](#)・[アンケート回答集計2\(自由記述\)](#)

【理事選出管理委員会】委員: 姜咲知子、野底稔

弊法人の2年ごとの理事改選をより公正中立に執り行うために設立。

2021年12月から2022年2月に掛けて、SGの理事改選について、理事候補者を交えた対話の場を6回実施。

2021年12月から2月の総会まで活動後、4月まで総括を行うためにミーティング実施。

★[理事改選フロー](#)

★[理事募集要項](#)

★[募集結果報告1](#)、[結果報告2](#)

★[2次募集](#)、[結果報告](#)



企業・大学・他団体連携プロジェクト

企業・大学等・団体との連携を進め、営業・コミュニケーションを行いました。

- ・[武蔵野大学の明石ゼミでのチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム提供](#)
- ・[愛知の大学「SDGsゼミ」チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム、つながりを取り戻すワーク等提供](#)
- ・明治大学特任教授の榎本珠良(えのもと たまら)氏をお招きして「平和(安全保障)とジェンダー」開催(SGコミュ限定)
- ・[田中裕也氏\(建築学博士・ガウディ研究者\)を招いて「サステナブルなガウディの世界」イベント開催](#)
- ・一般社団法人環境教育学会の「気候変動教育」プログラム開発への参加・学会発表予定
- ・某コンサルティング企業での福利厚生プログラムとしてのチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム提供(検討中)
- ・有限責任監査法人トーマツ杉本氏による「これから求められる企業の気候変動対策」(SGコミュ限定)
- ・デロイト・トーマツ社内プロジェクト「Just do it!会議」への登壇
- ・デロイト・トーマツ社内メンバーと「サーキュラーエコノミー部会」の立ち上げ、月2回の企画ミーティング継続中
- ・ローカリゼーションデイジャパンイベント登壇(グローバルエコビレッジネットワーク(GEN)ジャパン等共催)

詳しくは各リンク先ブログでご確認ください





IV. 運営

- 2021年度通常総会
- 理事会
- 新理事よりメッセージ
- 事務局
- 経営基盤強化
- ファンドレイジング
- 広報





2021年度通常総会（2022年2月26日開催）

2021年度通常総会は、正会員75名中20名の出席および37名の委任により70名の定足数の1/2以上の57名のご参加により成立し2月26日（土）に開催することができました。コミュニティからの参加者を含むと27名にご参加いただきました。ご参加いただいたみなさん、委任状をいただいたみなさん、ありがとうございました。

第1部の通常総会では、

第1号議案:2021年度の活動報告、会計報告、監査報告

第2号議案:理事 岩瀬 淑乃<再任>・野崎 安澄<再任>・川田 照義<再任>・いぬかい 良成【新任】・大山 裕之【新任】・監事の選任 桑原幸子<再任>・小寺毅【新任】の審議を行い、可決されました。

総会の司会は角田仁美、議長は会場から選出された佐藤扶由夫、議事録署名人は会場から岩瀬淑乃、桑原康平、正会員の定足数の確認は、本橋紀久子、佐藤さわ、始まりの儀式は宮田恵、テクニカルサポートは吉澤ひとみ、小谷真司、会員および表決のカウントは高橋安芸子・鈴木核が担ってくれました。ありがとうございました。

また総会終了後、1時間ほど交流会を行い、
久々の方、初めての方、常連の方含め、少人数に分かれて交流をしました。
総会、交流会とも終始温かいつながりに満たされた
SGらしい雰囲気にもまれ、素晴らしい1日になりました。

本当にありがとうございました。

詳細は[こちら](#)のブログ記事からご覧ください。





理事会：理事ミーティング

＜理事ミーティング：月1－2回＞

2022年度より新任理事お2人をお迎えし新体制となった理事チームですが、長引くコロナ禍の中、数か月間リアルで会うことがかなわず、概ね月1－2回のZOOMミーティングを続けていました。

そんな中、10月27日には念願の対面ミーティングを実施し、親睦を深めることができました。リアルでは初対面の間柄もありましたが、人柄を理解し合い、思いを共有し、一層結束が固まる機会となりました。

また、当初は新しい役割を明確化するため、ミーティングでの発言は理事のみ事務局（桑原康平or佐藤さわ）が書記役として参加、という体制で行っていましたが、事業マネジメントチームの解散を受け、事業マネジメント役として元理事でもある桑原の豊かな経験や知見を理事ミーティングの場でも発揮して欲しいという声があがり、現在では「理事 & 事業マネジメント（桑原）mtg.」という体制で行っています。

また理事ミーティングにおいて、新任の大山裕之が会議ファシリを引き受け、効率的に必要な話し合いが行われています。

＜理事 & 監事ミーティング：7月25日をもって定期mtg.は廃止。報告はSlack活用へ＞

2021年度から定期的に理事 & 監事ミーティングを行っていましたが、7月25日をもって廃止し、以前よりスラックでの情報交換が活発になっていることを受け、報告はスラックを活用しながら、必要な場合にミーティングを行うこととなりました。

引き続き監事のお2人から適切な監査やアドバイスを受けながら組織運営していきます。



新理事よりメッセージ

Charlie (いぬかい良成)



1年間SGの活動に参加したり、東京での「ガウディ」のイベントの企画をさせていただいたりしてきましたが、今後のSGの役割を積極的にみんなで作って行けたら良いなあと思っています。今後とも宜しくお願い致します^^

ひろさん(大山裕之)



あっという間の1年でした。SGのいろいろな活動に積極的にさらに関わって、また新しい分野にもチャレンジして行きたく思います。必ず世界に必要な活動です。できることから一歩ずつ、皆さんと一緒に行動して行きたく思います！



事務局

前年度に引き続き、2022年度も、桑原康平(サウル)と佐藤さわ、瀬下貴子(シエナ)、本橋紀久子(きくこ)の4名で分担して事務局活動を行いました。それぞれ専門ではないため、適時・迅速な対応が難しい側面がありますが、代表理事野崎安澄の手を借りつつ、なんとか工夫してサポートし合って進めることができました。

また昨年に引き続き半田志野に決算資料作成のサポートをしていただきました。

チェンドリ事務、コール事務、各業務(GCI、PT、ICCATなど)の事務の仕事については、事務局業務を一本化し、さらに広報も交えた横の連携を目指していますが、今年度はそこまでは至らずに年度を終了しました。

今後も引き続き、NPO法人組織を支える事務局体制の整備を進めていけるよう、検討しています。

活動内容

会計業務(入金管理、支払い、予算決算作業)・会員管理(新規会員の登録、会員更新、入金の登録)・総務事務を実施しています。

2022年度の成果

- ・事務局業務の見える化はおおむね完了しました。担当者の交代にも対応できるタスクリストやタスクスケジュールも徐々に整備されつつあります。
- ・おおむね迅速にメール対応を行うことができました。
- ・適時の会計業務、会員管理(入会案内やデータ更新等)ができました。



経営基盤強化プロジェクト

前年に引き続き、理事や事務局のメンバーが交代しても業務が滞らない持続可能なNPOを目指し、理事と事業関係者や事務局メンバーが力を合わせて、組織基盤の整備を行いました。

【事業マネジメントチーム】

理事が交代しても業務が滞らないこと、および、理事チームの役割を営業渉外にフォーカスするという方向性のもと、理事チームとは別に事業マネジメントチームを作り、経営に特化した検討をしようと、桑原康平、佐藤さわ、岩瀬淑乃の3人で、3月から隔週でのミーティングをスタートしました。しかし、十分に機能しないまま、理事や事務局の役割との混乱も起きたため、7月にチームとしてのミーティングを終了しました。その後は桑原が理事チームmtgに加わる形に変更しました。

【事業連携プロジェクト】

SGには、チェンドリ、GCI、PTなど、たくさんの事業があります。これまであまり横の連携は意識せずに、それぞれの事業がそれぞれの事業内で完結するような形で進めていましたが、まず開催スケジュールや広報の面で横の連携を密にし、SG全体としての「社会教育事業」を円滑かつ効果的に進めることを目指し、チャットツールslackにおいて、各月の各事業の報告を行うようにしました。

【事務局統合プロジェクト】

事務局業務はこれまで、NPO本体の事務と各事業の事務を別の担当者が行っていました。しかし、横の連携が必要なことも多いため、今年度は一部ですが、事務の統合を行うことができました。事務の効率化と情報共有の観点からも、引き続き事務局の統合を継続していきます。

【報酬支払いプロジェクト】

「無償のボランティアが前提」という文化を払拭し、関わるメンバーの持続可能性を意図した組織づくりのため、前年度に引き続き、関わった方への報酬の支払いを進めました。しかし、まだまだ一般的な水準での支払いはできておらず、個々に見ると有償ボランティアレベルの報酬にとどまっています。また、業務を細分化して支払いを進めたため、よりたくさん業務を担っている人の報酬が、逆に目減りするという事態に陥りました。今後は、支払いバランスを考慮に入れて、報酬を検討していきます。引き続き補助金や助成金の獲得も目指しつつ、自主財源もしっかりと充実させ、継続的な報酬支払いができるよう検討していきます。



ファンドレイジング

ファンドレイジングへの取り組みが組織運営に着実に浸透しているのを感じる一年でした。

【事業復活支援金の申請】

2022年コロナの影響を受けた事業者が対象となる事業復活支援金の申請を行い、100万円の助成金を受け取りました。

【アケボノファンドへ応募】

認定NPO法人アカツキが助成する「立ち止まり対話するための助成金・AKBN(アケボノ)ファンド」に応募しました。この助成金は、事業活動に対してではなく、内部の話し合いのためだけに使用できるという特別なコンセプトを持った助成です。残念ながら採択には至りませんでした。内部コミュニケーションの大切さや、対話の必要性を考えるきっかけとなりました。

【デロイト・トーマツ ウェルビーイング財団 助成先に採択されました】

デロイト・トーマツウェルビーイング財団さんの第2回「コレクティブ・インパクトによる社会課題解決の推進」助成事業に「コミュニティ気候アクションリーダー育成コンソーシアム(*)事業」で応募し、「エマージェンズ部門」として100万円の助成をいただけることとなりました。ありがとうございます。

(*)NPO法人セブン・ジェネレーションズ、NPO法人トランジション・ジャパン、NPO Pachamama Alliacne、Earth Wisdom Japan、シチズン・クライメート・ロビー・ジャパン、気候心理学アライアンスによるコンソーシアム

【地球環境基金への応募】

気候変動を解決するリーダー育成プログラムの研究・開発・学会での発表等への助成に応募しました。2023年3月末に結果が出る予定です。



広報

ブログ・SNS(Facebook/Twitter) 定期的発信を行いました

2018年からスタートした [ブログ](#) と、再開した [Twitter](#)・[FB](#) を定期的に更新し、情報発信を続けました。FBページへのフォロワーは現在3,517人、Twitterのフォロワーは711人(2023年1月現在)となっております。

HPリニューアルの検討をプロジェクトで行いました

HPリニューアルを昨年度から継続して検討しました。プロジェクトメンバーとして、杉本美咲、竹内朱美、山田ヴァユ、野崎安澄が2週間に1度、半年ほどかけて、他団体HPの調査やSGHPに載せる内容の整理整頓、作成を行いました。予算と理事からの意見でリニューアルには取り掛かっておりませんが、2023年度引き続きリニューアルのために進めていきます。また新たにHPの日々のメンテナンス担当を竹内朱美がになってくれることになりました。

新月通信

毎月新月の日にSGやコミュニティメンバーの情報を発信している新月通信。昨年までは月1回の「新月通信」を発行していたが、内容量の多さを解消し、SG本体の活動と、コミュニティメンバーの活動を分けて紹介するため、5月より新たに「満月通信」を追加発行することにしました。「新月通信」はSGの事業別に活動を紹介、「満月通信」はコミュニティの皆さんの活動紹介を、それぞれ新月の日と満月の日に発行中。2022年は高橋 安芸子(満月通信)・谷藤敏郎(新月通信)に編集・送信を担っていただきました。情報を載せたい方は newmoon@sevengenerations.or.jp までご連絡ください。

みなさまの情報をお待ちしています。バックナンバーは[こちら](#)から





V. 最後に

- 寄付のお願い
- 代表理事メッセージ
- 法人概要





寄付のお願い

2022年度は**179,070円**のご寄付をいただきました。

各地・オンラインで開催されたチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムや各種プログラムにご参加されたみなさまのおかげです。

2022年度は役員改定の年となり、2期理事を勤めた桑原康平・佐藤さわ・関口守が退任し、新たな理事・監事メンバーが加わり新しい体制での出発となりました。

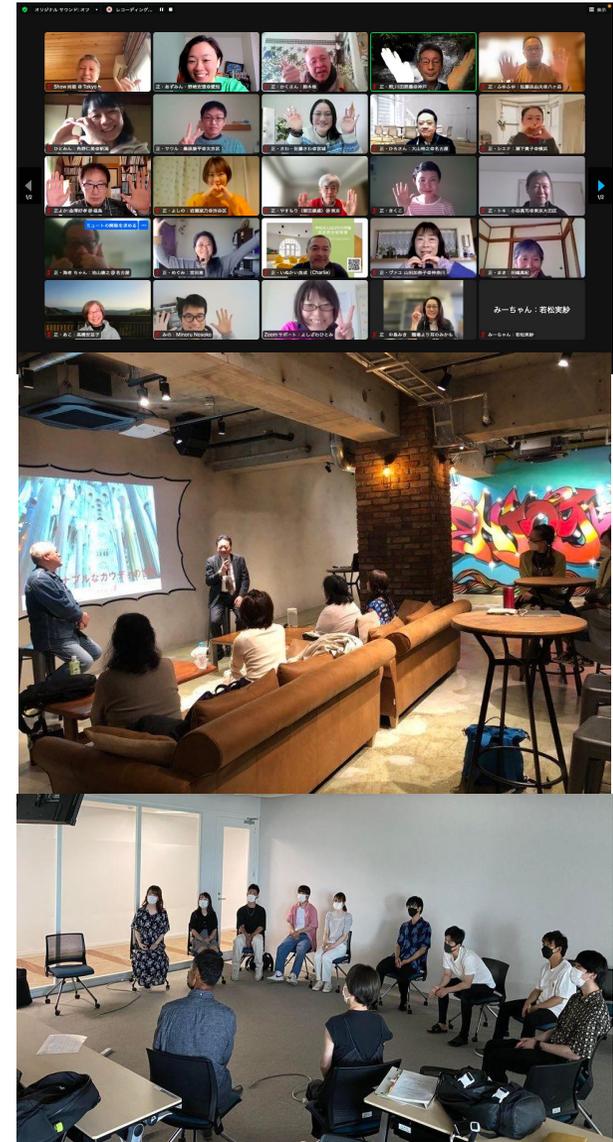
またチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムの映像内に登場する世界的なリーダー、デズモンド・ツツ氏、ディク・ナット・ハン氏が天に召されたというニュースも届きました。私たちに彼らから手渡された松明を、引き続き明明と燃やし続けていきたいと思えます。

次の10年、さらに「地球上すべての人が、環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的に充足した生き方を実現」できるように、社会変革の担い手であるゲームチェンジャーを増やし、持続可能な社会の実現を目指して行きます。私たちが本当に望む世界をともに実現していきましょう！どうぞよろしくお願いいたします。

今後の活動の広がりと継続のためにご寄付を随時受付けております。

▼ご寄付はこちらのページからお願いします！

<https://www.sevengenerations.or.jp/donate>



代表理事メッセージ



野崎安澄(あずみん)です。
2022年はみなさんにとってどんな一年でしたか？



2022年1月にティク・ナット・ハンさんが亡くなられ、彼が大いなる生命の流れの中にかえっていかれたのだなあ、と感じていた矢先、実の父もガンの余命宣告を受けました。

3月に母を通じて聞かされ、余命数ヶ月から半年と聞いた後、コロナもあってしばらく足が遠のいていた実家に、頻りに帰り両親と時間を過ごすようにしました。5月、病院では治療することがなくなり、家で最期を迎えたいという父の希望を受け退院しました。

私も実家に帰り、母・妹と一緒に介護をし、最期を家族3人で看取ることができました。

もちろん悲しみや喪失感はありましたが、父自身も大いなる生命の流れの中にかえって行ったのだ、と思うと、暖かい気持ちで満たされています。

父がつないでくれた生命のバトン。
私自身の命が燃え尽きるまで、次の世代、そしてさらにその先の世代のあらゆる生命・種のために、自分にできることを精一杯やり尽くしていきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします！



父と観に行ったラグビーワールドカップ



法人概要

1. 名称

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ

2. 成立

2011年3月15日

3. 事務所所在地

東京都文京区

4. 連絡先

メールアドレス info@sevengenerations.or.jp

5. 会員数(2023年1月末現在)

正会員個人 70名

賛同会員個人 60名 賛同会員団体 2団体

6. 役員

代表理事 野崎安澄

副代表理事 岩瀬淑乃

理事 いぬかい良成 大山裕之 川田照義

監事 桑原幸子 小寺毅

* 公式ホームページ

<https://www.sevengenerations.or.jp/>

* チェンジ・ザ・ドリーム紹介ページ

<https://sevengenerations.or.jp/course>

* ゲームチェンジャー・インテンシブ公式ホームページ

<https://gci-japan.com/>

* 公式ブログ

<https://www.sevengenerations.or.jp/blog>

* Facebook公式ページ

<https://www.facebook.com/7generations.jp/>

「いいね！」よろしくお願いします！

* Twitter

https://twitter.com/7generations_jp

フォローよろしくお願いします！！